

令和元年度第2回広島市自転車都市づくり推進協議会 議事概要

1 開催日時 令和元年12月24日（火） 14時～16時

2 開催場所 広島市役所本庁舎14階 第7会議室

3 出席者

(1) 出席委員（8名）：塚井座長、田中委員、山本委員、赤木委員、日浦委員、高田委員、佐元委員、堀委員

(2) 代理出席（2名）：大下委員代理、赤木委員代理

4 議題

(1) 広島市自転車都市づくり推進計画の改訂（素案）について

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者 一般傍聴者 なし 報道関係者 1社

7 発言の要旨

議題1 広島市自転車都市づくり推進計画の改訂（素案）について

（事務局）

＜資料1～3の説明＞

（塚井座長）

事務局の説明について、質問、意見等があれば発言いただきたい。

【指標】について

（堀委員）

《素案24ページ》 自転車ネットワーク路線は事故状況等を検証した上で選定しているとあるが、そうした整備を進めていけば、「まもる」の指標である自転車事故の件数がより減少する事につながるので、しっかりと取り組んでいただきたい。

【はしる】について

（塚井座長）

現行の素案は、デルタ内でのネットワーク化にとらわれすぎており、デルタ外を自転車で安全に走行させるという観点が抜け落ちている。

走行空間整備は自転車施策の基礎となる取組であり、「とめる」も「まもる」も「はしる」あってこそそのもの。素案では、自転車事故を防止する方策が「まもる」にのみ拠っており、「はしる」とリンクして考えることが肝要。

（事務局）

デルタ市街地以外についても、自転車利用者や歩行者などの安全を確保する必要がある場合には、自転車走行空間の整備に取り組むことを素案に追加する。

(塚井座長)

《素案 25 ページ》 早期のネットワークの形成のために大規模な改築等をしないということだが、消極的な文章であり、あえて記載しなくてよいのではないか。

(事務局)

当該項目を削除する。

(日浦委員)

自転車で快適に走行できるようにするためには、自動車を減らすしかない。デンマークのコペンハーゲンなどの海外の自転車先進都市では、自転車道が道路整備における大きな比重を占めており、車線を減らしてでも自転車道を整備するよう計画に記載すべきではないか。

(事務局)

素案 26 ページに整備形態の選定フローを記載しているように、国のガイドラインでは将来的に自転車道を目指すこととなっているが、道路空間の再配分が必要となるとの課題がある。

(日浦委員)

自転車は車道通行が基本だが、学生が駐停車車両を避けるために中央側に寄ってしまい、事故につながるケースが多くなっているように感じられる。自転車道による物理分離が理想だが、現行の自転車通行帯の形態をとるのであれば、路上駐車ができないように交通規制をかけるべきではないか。

(事務局)

交通規制については、県警と協議しながら検討を行いたい。

(高田委員)

広島市では路面標示の色をベンガラ色としているが、国が青色を基本としていることもあって、青色で整備している他都市と異なっており、観光客は混乱するのではないか。今後、広島市でも青色に統一していけないか。

(事務局)

国のガイドライン上は青色であるが、本市では従前よりベンガラ色での整備を進めており、市民にも浸透しているので、ベンガラ色で継続したい。

(塚井座長)

路面標示の色について、必ずしも国のガイドラインどおり青色に統一するべきとは思わないが、京都市など異なる色を採用する都市の状況を検証していくべき。

【まもる】について

特になし。

【とめる】について

(塚井座長)

《素案 37 ページ》 取組 11 の「利用料金制の導入による柔軟な料金体系の検討」とあるが、利用料金制という単語は市民には意味が分からないので、表現を改めるように。

(事務局)

分かりやすい表現に修正する。

(日浦委員)

《素案３８ページ》 取組１５の「老朽化した駐輪場設備の更新」について、最近は電動自転車やタイヤの太い自転車などが増えており、物理的にラックに乗らない、乗っても二段目に上げにくいなどの問題があると思う。そうした現状も踏まえて、駐輪場設備の更新を検討してほしい。

(事務局)

油圧方式を採用している２段式ラックなどの新製品も出てきており、使いやすさを考慮しながら検討していきたい。

【いかす】について

(日浦委員)

《素案５３ページ》 取組４７の「サイクル&ライドの推進」について、マイカー乗るまァデーは効果的な取組であると思うので、所管部署に取組を強化するよう伝えてほしい。

(佐元委員)

マイカー乗るまァデーとの取組の連携について、具体的にどういう取組を行うのか記載してほしい。

(堀委員)

マイカー乗るまァデーの推進などのサイクル&ライドは、まちづくりや健康づくりに寄与しうる取組である。まずは市役所内でどういう取組ができるか検討すれば、効果測定も容易なので、そこから始めてほしい。

(事務局)

マイカー乗るまァデーとどのような連携を行うのか、具体的に記載したい。

(山本委員)

《素案５０ページ》 取組３８の「サイクルトレインの導入検討」について、可部線への導入検討が挙げられているが、乗客が多いなどの理由から実現へのハードルは高い。可能であれば、「導入を検討する」という表現ではなく、「導入可能性を検討する」という表現に修正してほしい。

(事務局)

サイクルトレインの表現について検討する。

(山本委員)

《素案５０ページ》 取組３９の「サイクルステーション等の導入検討」について、サイクルピットを駅に設置するなどの取組は、現実的なものとして協力できると思う。

【その他】

(塚井座長)

多くの意見が出たため、事務局において素案を見直していただき、座長において再度確認することとしたい。

(全委員)

了承。

以上